087	りんどう

1　前提

該当する地域	県下　中山間地
設定した経営規模	りんどう３０ａ、水稲５０ａ
自家労働	2.0人
その他	①セル成形苗を使用し、４年間収穫。毎年、栽培面積の２割を更新する。　②出荷調製は花き共同選花施設を利用する。

2　作付体系

年次　月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
１年目					◎	――	――	――	――	――	――	――
２年目	――	――	――	――	――	――	□	□	□	□	□	――
３年目	――	――	――	――	――	――	□	□	□	□	□	――
４年目	――	――	――	――	――	――	□	□	□	□	□	――
５年目	――	――	――	――	――	――	□	□	□	□	□	切り上げ

凡例：○播種、……育苗期間、∧仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、――栽培期間、□収穫

3　施設機械装備

但し　Ｒ＝（１－残存割合）　　（単位：円）

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過年数 (E)	期首現在価額(F) (A)-(D)×(E)	自己資本割合 (G)	自己資本利子 (f)×(G)×利子率
作業場	木・瓦	26　㎡	2,402,400	60	1,441,440	1,441,440	15	96,096	8	672,672	100	26,907
トラクタ	4WD・20ps	1　台	1,973,400	20	394,680	394,680	7	56,383	4	169,149	50	3,383
ロータリ	140cm	1　台	267,300	20	53,460	53,460	7	7,637	4	22,911	50	458
管理機	3.5ps	1　台	188,100	100	188,100	188,100	7	26,871	4	80,616	100	3,225
動力噴霧機	可搬式 6.3ps	1　台	312,400	100	312,400	312,400	7	44,629	4	133,884	100	5,355
背負式動力噴霧機	20㍑	1　台	92,180	100	92,180	92,180	7	13,169	4	39,504	100	1,580
潅水ポンプ	3.4ps	1　台	143,220	100	143,220	128,898	7	18,414	4	69,564	100	2,783
動力運搬車	6ps	1　台	581,900	100	581,900	523,710	7	74,816	4	282,636	100	11,305
人力噴霧器	17㍑	1　台	32,340	100	32,340	29,106	7	4,158	4	15,708	100	628
刈払機		1　台	60,500	100	60,500	54,450	7	7,779	4	29,384	100	1,175
軽トラック	660cc、4WD、350kg積	1　台	1,200,000	70	840,000	840,000	4	210,000	2	420,000	100	16,800
合計			7,253,740		4,140,220	4,058,424		559,952		1,936,028		73,600

4　技術体系（10ａ当たり）

作物名	品種	栽培様式・作型	10ａ当たり収量	ほ場条件	作付面積
りんどう	極早生、早生、中生、晩生	露地	19,000本	耕土深く排水 良好な水田	30a

項目 作業名	耕種基準 作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業基準 作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間 機械利用時間	組人員	延労働時間	燃料消費量 (ﾘｯﾄﾙ／10ａ)
(定植１年目) 圃場の準備	11/上～11/中	完熟堆肥 苦土セルカ2号 苦土重焼燐 ﾐﾈﾗﾙ宝素 スーパーIBS222	4,000kg 100kg 60kg 100kg 40kg	トラクタ ロータリ	○土壌改良資材を散布し深耕しておく ○全層施肥とする。 ○ほ場の排水対策を徹底しておく。	0.8	1	3.2	軽油 4.0
畝立て及び土壌消毒	11/下～12/上	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 白黒ﾀﾞﾌﾞﾙﾏﾙﾁ (135cm)	10kg 600m	管理機	○植え床は幅60～70cm、通路70～80cm、30cm以上の高うねとする。 ○雑草防除のためｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤を表層処理し、白黒ﾀﾞﾌﾞﾙﾏﾙﾁをする。 ○このままで翌春まで放置する。	1.2	1 1	1.6 1.6	ｶﾞｿﾘﾝ 1.2
定植準備	3/下			人力	○マルチに植え穴を開け、同時に発芽テストをする。		1	1.6	
定植	4/下	セル成形苗 ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ錠	6,000株 8錠	人力	○ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ100ppmを定植前に苗に散布 ○ｾﾙ成形苗に十分潅水し、定植する。 （条間30cm、株間20cm）		1	12.0	
追肥	5/上	有機化成A801	30kg	人力	○追肥及びマルチ内の熱風を出すための穴を開ける。 ○有機化成A801を開けた穴から施用する。		1 1	1.6 0.4	
ﾏﾙﾁの穴開け	8/下～9/上			人力	○生育に合わせてマルチの穴を大きくする。		1	1.6	
敷きわら	11/中			人力	○防寒のため敷きわらを敷く。		1	8.0	
（定植２年目以降） 追肥（春肥）	3/上	スーパーIBS222 苦土重焼燐	80kg 30kg	人力	○うね中央部分のﾏﾙﾁを切り開いて、スーパーIBS222、苦土重焼燐を施用する。		2	12.0	
株仕立て	4/上～6/下			人力	○1株当たり10本以下の株は行わない ○１株当たり10～15本程度の株は草丈30～40cmに伸びた時(生育良いもの) ○１株当たり15本以上の株は草丈10cm頃までに15本にし他は株元より折りその後１株当たり10～15本仕立てと同様に行う。 ○収穫最終年は１株当たり5～7本を残し、他は早めに除去する。		2	24.0	
敷わら	4/中～4/下	稲わら	600kg	人力	○雑草防除、地温抑制のため行う。		2	12.0	
ネット張り	4/中～5/上	ﾌﾗﾜｰﾈｯﾄ(15cm×4目) 支柱(1.5～1.8m長)	600m/1段 600本	人力	○高さ20cm前後に１段目を張り、生育に応じてネットを上げ、さらに２段目、３段目を張る。		2	24.0	
かん水	4/下～9/下			人力	○欠株を防ぐため、高温期は夕方、低温期は午前10時頃うね間かん水する		1	50.0	
除草	4/下～10/上			人力	○雑草が小さいうちに手取り除草する		2	16.0	

技術体系

項目 作業名	耕種基準 作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業基準 作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間 機械利用時間	組人員	延労働時間	燃料消費量 (ﾘｯﾄﾙ／10ａ)
防除	4/中～10/上	オルトラン粒剤	3kg	動力噴霧機	○葉枯病、褐斑病、スリップス、リンドウホソハマキの防除を行う。	36.0	2	62.0	ｶﾞｿﾘﾝ 36.0
		オーソサイド水和剤80	1000g						
		アドマイヤーフロアルブ	300ml						
		ダコニール1000	600ml						
		オルトラン水和剤	600g						
		チェス顆粒水和剤	60g						
		ノーモルト乳剤	300ml						
		チオノックフロアブル	1200ml						
		アディオンフロアブル	600ml						
		マイトコーネフロアブル	300ml						
		ポリオキシンAL水溶剤	150g						
		ベフラン液剤25	800ml						
		コテツフロアブル	150ml						
		ストロビーフロアブル	450ml						
		アフェットフロアブル	300ml						
		コルト顆粒水和剤	150g						
		フルピカフロアブル	450ml						
		アクタラ顆粒水溶剤	300g						
		グレーシア乳剤	150ml						
		ディアナSC	240ml						
		ハチハチフロアブル	300ml						
		パレード20フロアブル	150ml						
収穫調製	6/中～10/中	こも		人力	○頂花が２輪以上着色または開花したものを収穫する。 ○十分に水揚げした後、選花場に持ち込む。	26.0	2	37.0	ｶﾞｿﾘﾝ 20.0
追肥（礼肥）	8/上～9/下	有機化成A801	50kg	人力	○株養成のため切り花終了後に行う。		1	8.0	
茎葉の片付け	11/中～12/上			人力	○茎葉が枯れ上がったら刈り取って焼却する。 ○病気が多発したほ場は早めに片付ける。		2	16.0	
合計								292.6	

5　経営試算(10a当たり)

区分		科目	金額	説　　明
粗収益		主産物価額③	1,102,000	生産量①： 19,000 本　　単価②：　58 円／本
		主産物価額	0	生産量　：　　単価　：
		主産物価額	0	生産量　：　　単価　：
		副産物価額④	0	
		計　(A)	1,102,000	
生産費	生産原価	種　苗　費	72,000	
		肥　料　費	49,054	使用資材等は技術体系のとおり
		農　薬　費	101,311	〃
		諸 材 料 費	71,821	〃
		動力光熱費	13,342	
		農　具　費	35,984	機械負担価額×４％
		建物等修繕費	4,805	建物・構築物負担価額×１％
		賃 料 料 金	0	
		共 済 掛 金	0	
		雇 用 労 賃	0	
		減価償却費⑤	186,651	別表のとおり
		土地改良費	8,570	
		支払地代⑥	0	
		小計　(B)	543,537	
	販売費一般管理費	出荷資材費	55,100	
		販 売 諸 費	410,020	
		諸税負担金	23,110	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	18,825	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	640	借入資本利子率２％
		小計　(C)	507,696	
	経　営　費　(D)		1,051,233	注）(D) = (B) + (C)
	家族労働費見積額　⑧		408,590	農 従 労 働 時 間：　287.6　生産管理労働時間　26.7　　1,300　円／時間
	支払利子・地代算入生産費(E)		1,459,823	主産物単位当たり　　77　円／1本　　注 (E) = (D) +⑧-④
	自己資本利子(F)	流動資本利子⑨	25,451	注）⑨= ((E)ー⑤ー⑦) ／２×0.04
		固定資本利子	24,533	利子率４％
	自 作 地 地 代　(G)		14,000	
	全算入生産費　(H)		1,523,807	生産物単位当たり　　80　円／1本　　注）(H) = (E) + (F) + (G)
所　得　(I)			50,767	時間当たり　　162　円　　注）(I) = (A) - (D)
所　得　率　(J)			5	注）(J) = (I) ÷ (A) ×100
農企業利潤　(K)			-421,807	注）(K) =③- (H)
家族労働報酬　(L)			-13,217	時間当たり　　-42　円　　注）(L) = (I) - (F) - (G)
農業資本利潤　(M)			-357,823	注）(M) = (I) -⑧

6　労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
作業名	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
土づくり																															1.6	1.6					3.2
うね立て・土壌消毒																																	1.6	1.6			3.2
定植準備									1.6																												1.6
定植												6.0	6.0																								12.0
追肥													2.0																								2.0
マルチ穴拡大																								1.6													1.6
敷わら											8.0	4.0																				8.0					20.0
敷わら除去・追肥							12.0																														12.0
かん水												4.0	4.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0										50.0
除草												4.0		4.0		4.0			4.0																		16.0
病害虫防除										2.0	2.0	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	6.0	4.0	6.0	4.0	4.0	4.0		3.0	3.0		3.0	3.0									62.0
追肥																				2.0		2.0		2.0			2.0										8.0
ネット張り											4.0	4.0	4.0								8.0	4.0															24.0
株仕立て										4.0	4.0			8.0				8.0																			24.0
収穫調製・運搬																	1.0	2.0	4.0	4.0	3.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	2.0	2.0	1.0								37.0
茎葉の片付け																																4.0	8.0	4.0			16.0
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	1.6	6.0	18.0	25.0	19.0	20.0	6.0	10.0	9.0	16.0	16.0	12.0	19.0	18.0	8.0	14.6	10.0	7.0	9.0	5.0	1.0	0.0	1.6	13.6	9.6	5.6	0.0	0.0	292.6

生産管理労働時間　　(26.7)